

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢を限定した事業所であるため、年齢に合ったグループ療育を提供することが出来る。 一人一人の特性に合わせた療育の提供が出ている。	支援プログラムは固定化せず、成長や一人一人の発達に合わせて個別での課題、日替わりの活動を提供している。 ビジョントレーニングやSSTに力を入れて楽しみながら学べる環境を作っている。 長期休暇時にはお出かけやイベントを行い、様々な経験が出来るよう支援している。	活動会議を行い、常に新しい取り組みを行うことが出来るように話し合いを行っているので継続していきたい。 様々な研修会や勉強会に参加し、職員の知識の向上を目指し、よりよい支援を提供していく。
2	保護者との連絡を密にとり、情報交換が出来ている。	ソフテアを使用し、連絡帳機能にて療育の様子を写真を用いながら保護者に伝えている。 また、個別での面談も定期的に行い、コミュニケーションを日ごろから撮るよう意識している。 インスタグラム等のSNSにて療育報告や活動報告も行っている	引き続き、コミュニケーションを図り、困りごとなどの相談のサポートがしやすいような環境を整え、情報共有を密に取っていく。
3	職員の支援の質向上のために、eラーニングを導入し、自発的に研修に参加できるような環境を提供している。	月に1度必要な研修を受講しており、隙間時間を利用して自ら研修を受講できる環境を整えている。 支援の質向上の勉強会を定期的開催し、知識を増やす機会を作っている。	引き続き、社内研修の充実を図りつつ、外部への研修も積極的に受講し、自ら学ぶことが出来る環境を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関わりを持つ機会が少ないこと	年に1度マルシェイベントや参観などは実施しているが、保護者同士が交流する機会を作ることが出来なかった。 療育参観などでお子様の様子を見ていただくことは出来ていたが、ペアレントトレーニングなどの研修の機会を設けることが出来なかった。	イベントは交流の場であることを周知し、保護者同士が交流する場となるようなイベントを開催したい。 また、ペアレントトレーニングに関しても今後の課題としていく。
2	放課後児童クラブや地域の子どもたちと交流する機会が少ないこと	利用されているお子さまは地域の小学校に通っているため、地域のお子様との交流の機会は設けていない。	他事業所や地域のイベントに積極的に参加する。
3	協議会や子ども部会、地域の子ども・子育て会議等への参加が出来ていないこと	今年度は参加することが出来なかった。 情報収集もうまくできなかった。	今後、協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加を検討していく。情報収集の仕方も考えていく。